

令和元年度 にいがた市民大学入学式兼公開講演会 実施概要

【会 場】 新潟市民プラザ（新潟市中央区西堀 6-866 NEXT21 6階）

【日 時】 令和元年6月1日（土）午後1時半～午後4時

【参加者】 339名

- ・ 講座受講生 184名
- ・ 一般参加者 141名
- ・ 関係者 14名

■ 音楽コンサート

生涯学習ボランティアグループ「ジョイフルアンサンブル」

《第1部 入学式》

■ 挨拶

- ・ 新潟市教育委員会 教育長 前田 秀子
- ・ にいがた市民大学 学長 荒川 正昭

■ 学位認定証贈呈

■ 令和元年度（第25期）にいがた市民大学講座紹介
にいがた市民大学運営委員会 委員長 追手 巍

■ 平成30年結成 自主グループ紹介

- ・ プログラミング教育・学習支援勉強会
- ・ 雁の会

《第2部 公開講演会》

■ 基調講演

「楽に生きる」ことを人々はどう考えてきたか
—江戸から明治、そしてこれからの「未来」に向けて—

日本文学研究者・国文学研究資料館長
ロバート キャンベル さん



令和元年度 にいがた市民大学「日本酒学への招待」公開講座

「日本酒の文化・歴史～各地を醸す日本酒探訪～」 実施概要

【会 場】 新潟市民プラザ（新潟市中央区西堀通 6-866 NEXT21 6階）

【日 時】 令和元年7月2日（火） 午後7時～午後9時

【講 師】 山田 聡昭 さん
（株式会社 酒文化研究所 第一研究室 室長）

【参加者】

計 166 名

（内訳）

- ・ 講座受講生 123名
- ・ 一般参加者 43名



【内 容】

ベトナムや中国など世界に見る米の酒について、講師自らが現地に足を運んで見た酒づくり、酒の味などをご紹介いただき、各国で様々な形がありながらも、太古より酒が人々の生活の中にあつたことをお話いただきました。

このほか、生活における保存の重要性とともに、お酒においても火入れがされ、保存が進み、販路が拡大されていったこと、併せて製鉄、金属加工にも影響を与えたこと、酒が洗練されてゆく中で、産業化へとつながり、当時の国の経済事情とつながっていく一方、人々はお酒を楽しもうと工夫を凝らし、燗酒の器の発達といった文化芸術にも影響を与えるなど、お酒を取り巻く様々な時代背景についてお話いただきました。

最後に、日本ではお酒の産地のルールがないことから、日本酒の格付けを保護するうえで正念場との課題も提示していただきました。

